



建設業と地域の元気回復助成事業

建設業の人材と知恵を生かした 留萌観光元気プロジェクト

H22・7・16

PJコーディネーター 高宮 則夫

礼受牧場から眺める

留萌観光元気プロジェクト概要

1 テーマ：建設業の人材と知恵を生かした留萌観光元気プロジェクト

2 対象地域：留萌市内西海岸（瀬越～沖見～浜中海岸）

3 事業の目的

建設業が他の産業と連携して、留萌海岸における新たな海岸観光資源の開発により、留萌の観光と街の元気回復事業を試みる。

4 事業概要

- ・観光情報センターの開設・運営
- ・マリンレジャーやスポーツの開発と振興
- ・藻場の観光活用や磯辺の再生事業

5 協議会名：留萌観光元気プロジェクト協議会

6 事業予算：助成金 20,000千円（建設業と地域の元気回復助成金）

留萌観光元気プロジェクト協議会の構成

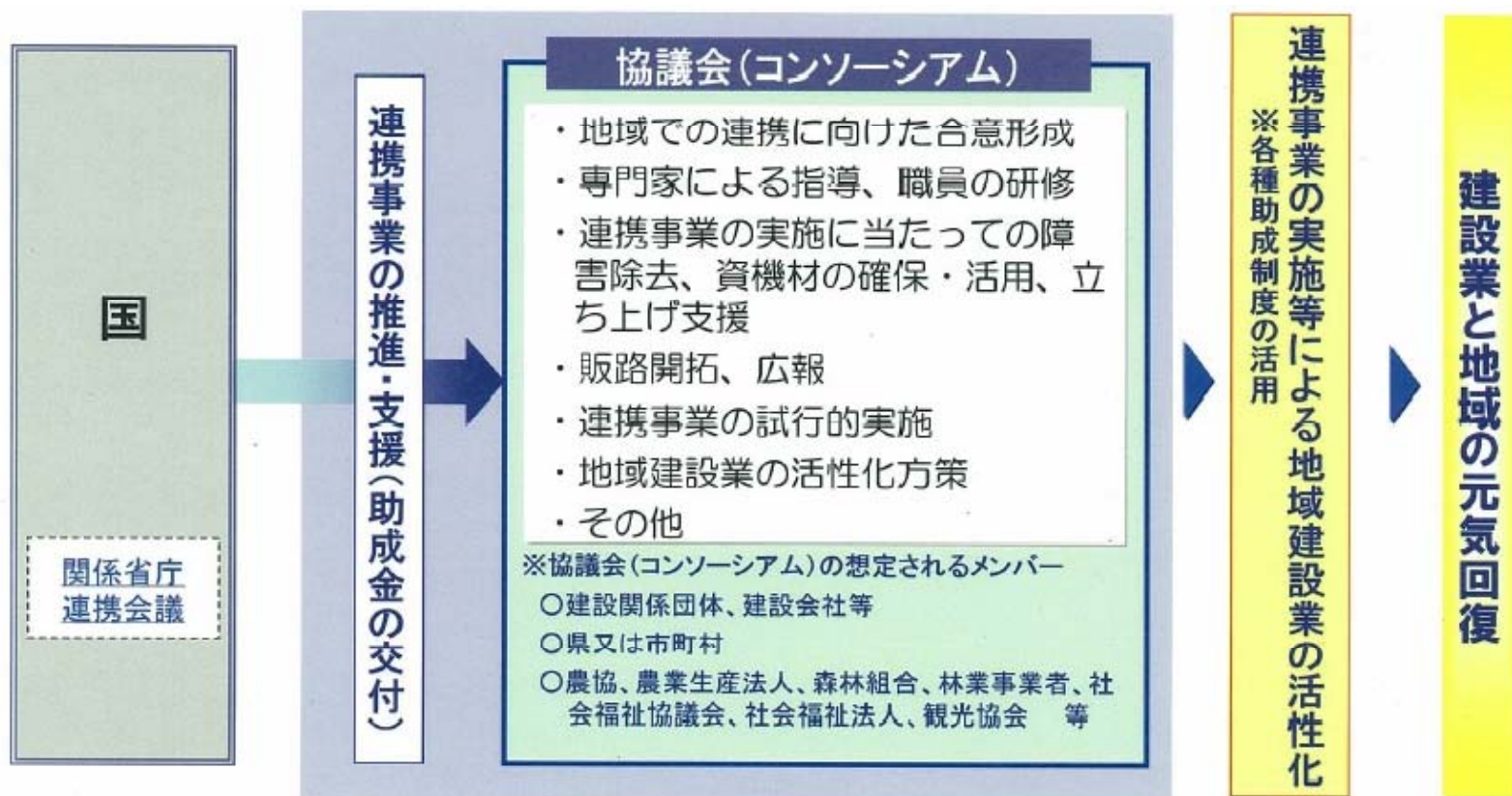


留萌市の海岸観光資源



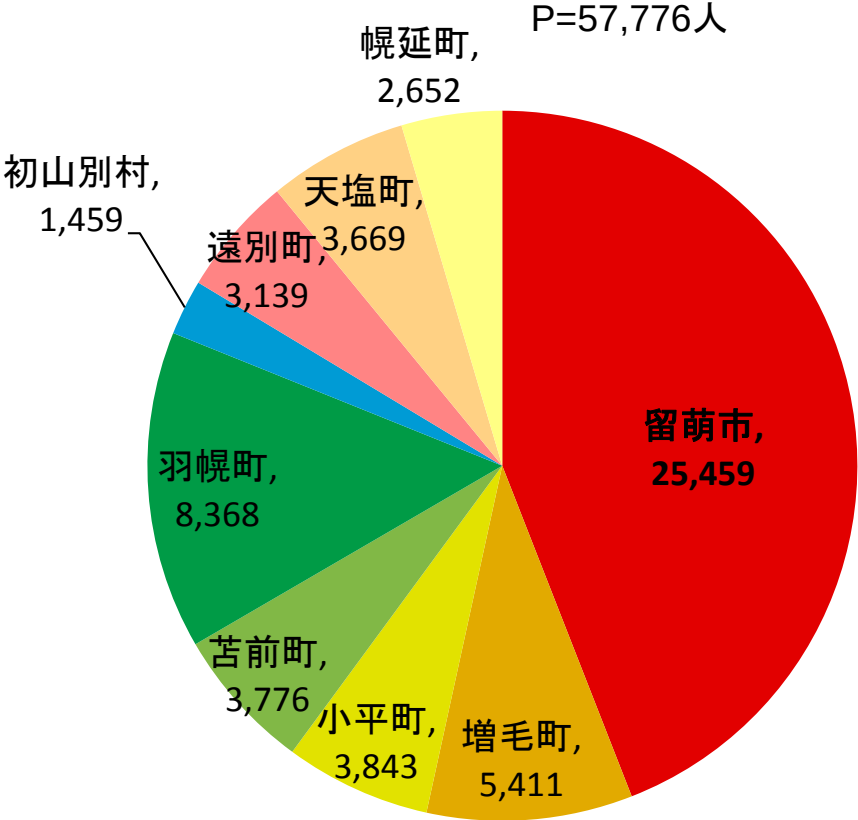
建設業と地域の元気回復助成事業について

「建設業と地域の元気回復助成事業」とは国土交通省が、地域の建設業団体が保有する人材・機材・ノウハウ等を活用し、地方公共団体や農業・林業・観光・環境・福祉等の異業種団体との連携により協議会を設立して、建設業の活力の再生と地域の活性化を図ろうとする事業に対して、支援をするものです。

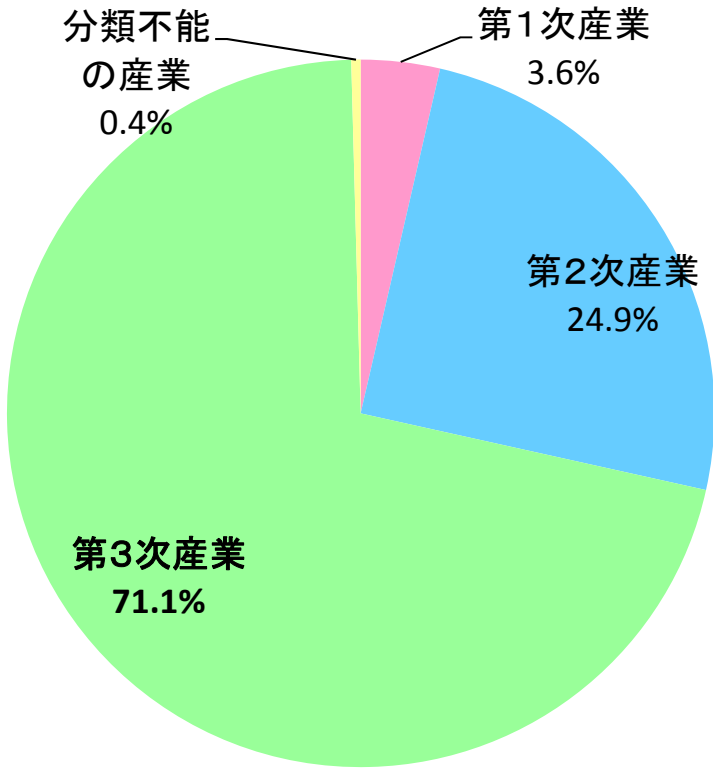


留萌の分析—留萌の人口と産業

留萌支庁内の人口

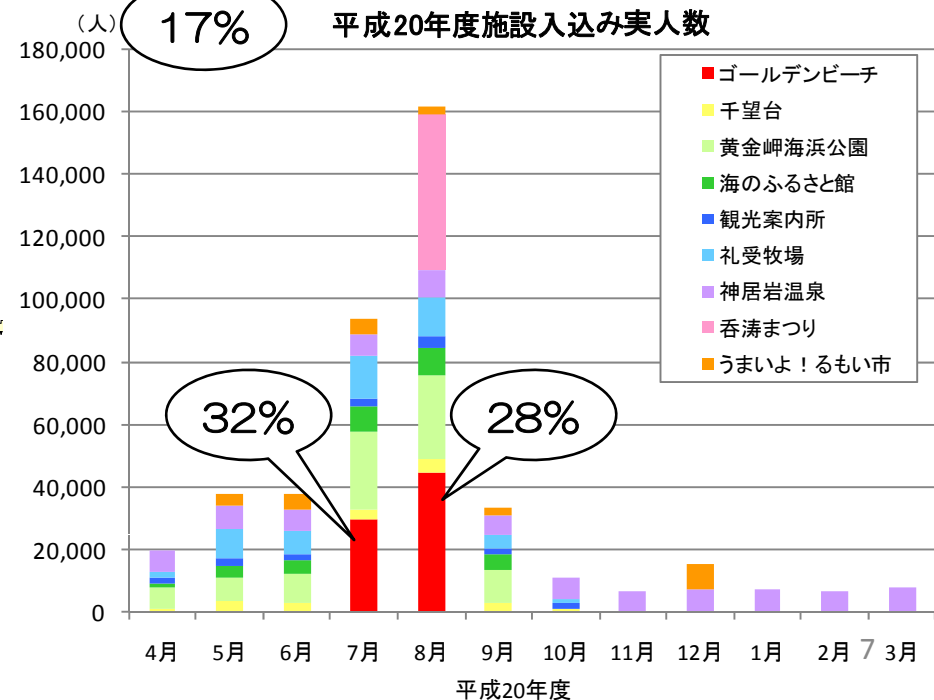
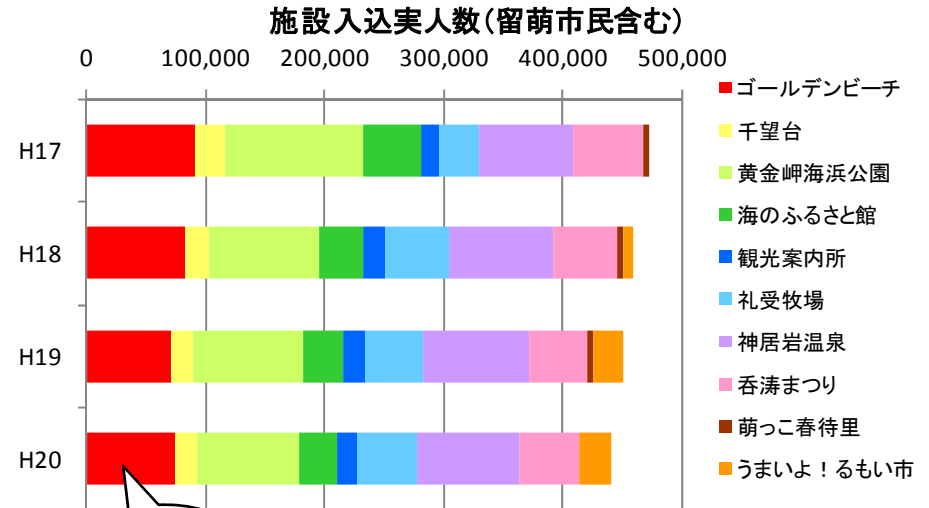
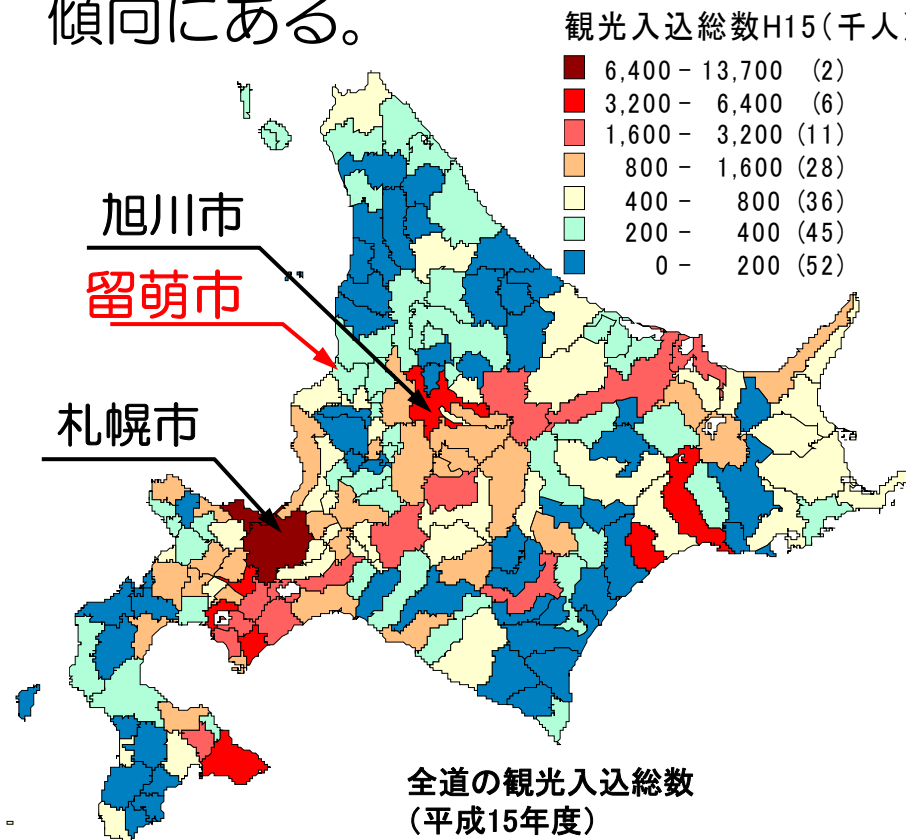


産業別就業者数の割合 (留萌市)



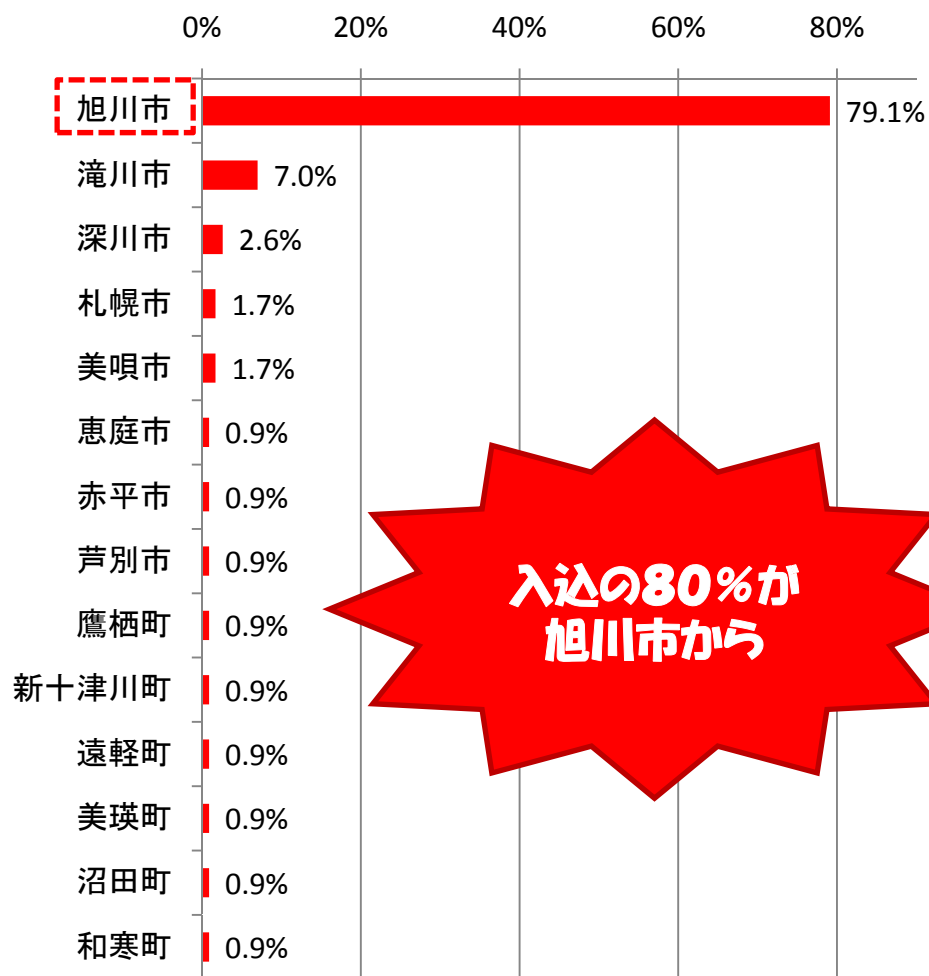
留萌分析—観光の現状

留萌へ訪れる観光客の殆どは「海」
に関連する観光施設に集中している。
その観光客数は年々減少する
傾向にある。7, 8月の2ヶ月が
ピークで秋以降は激減してしまう
傾向にある。



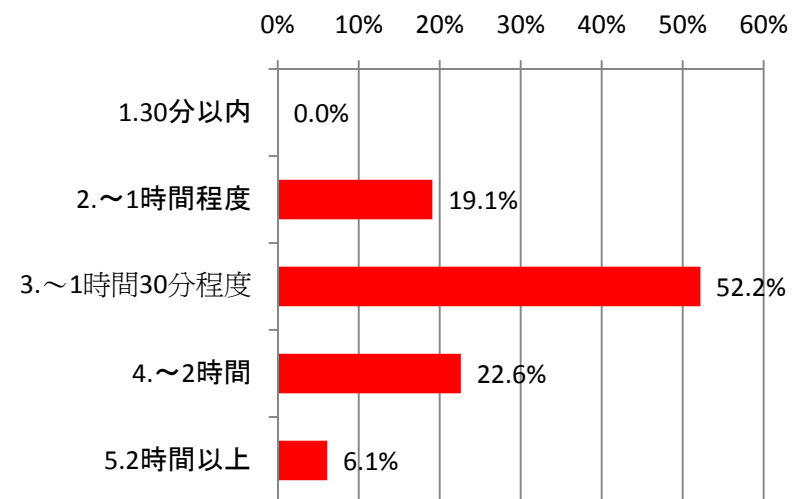
留萌分析—留萌海岸への入込現状（平成19年調査）

ゴールデンビーチるもい海水浴客の住所

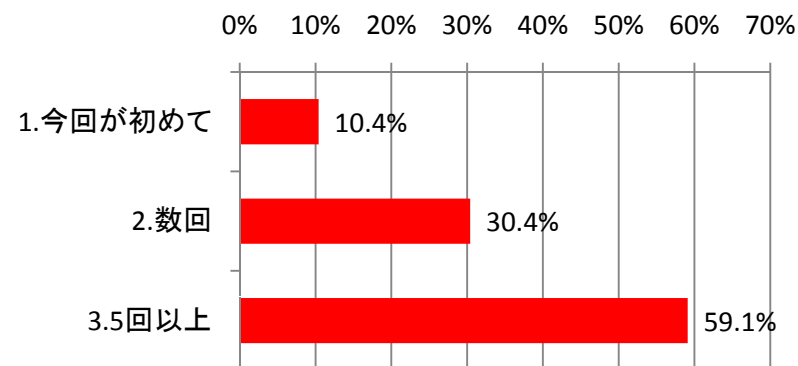


**入込の80%が
旭川市から**

自宅から海水浴場までの移動時間



留萌管内の海水浴場の利用頻度



平成19年 ゴールデンビーチるもい海水浴客アンケート結果より（留萌開発建設部）

留萌元気回復事業の3つの柱

留萌観光元気プロジェクトは、
3つの柱によって構成され事業化している。

1) 留萌海岸「観光情報センター」の開設・運営

2) マリンレジャーやスポーツの開発と振興

3) 藻場の観光活用や磯辺の再生事業

1) 留萌海岸「観光情報センター」の開設・運営

◆留萌海岸「観光情報センター」の開設検討

留萌の海岸に関する観光・イベント情報を発信する「観光情報センター」の試行的開設を行う。

1) 海岸観光情報センターとホームページの開設

- ① 海岸情報センターの開設
- ② HPによる観光情報の発信
- ③ WEBカメラによる海岸情報の提供

2) 留萌海岸観光キャンペーン

『留萌海岸観光情報センター』ホームページ
(H22.6.24開設)
<http://www.rumoi-rasisa.jp/beach/>



2) マリンレジャーやスポーツの開発と振興

◆ マリンレジャー・スポーツ振興策の展開

ゴールデンビーチの活性化策とマリンレジャースポーツの開発を試行的実施する。

1) マリンスポーツを通年楽しめる環境改善

① ビーチ管理棟の開設延長の検討⇒ **【4月下旬～9月末予定】**

② マリンスポーツの開発と利用推進検討



★ ビーチバレー大会 ★

2) マリンレジャーやスポーツの開発と振興

◆ マリンレジャー・スポーツ振興策の展開

ゴールデンビーチの活性化策とマリンレジャースポーツの開発を試行的実施する。

2) ゴールデンビーチの活性化

① オートキャンプ場開設・運営

【6/26・27「オートキャンプフェスティバルinるもい」を共催】

② 貸しテント村の開設・運営

【7/10～8/22開設予定】

③ 「元気ビーチバレーコート」の常設

④ 「海上プレジャーランド」の開設

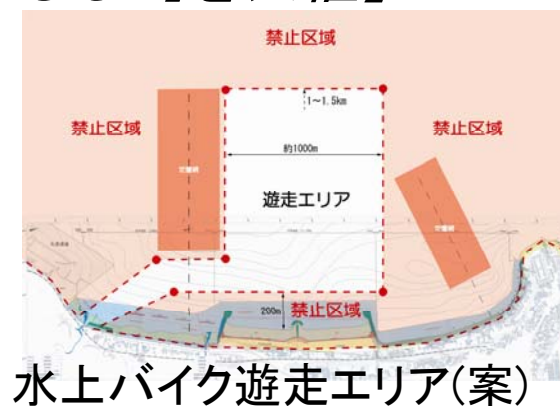
【7/31～8/2・8の4日間開催予定】

⑤ 水上バイクの試行的開放

【8月末まで開放予定】



元気テント村(案)



水上バイク遊走エリア(案)



海上プレジャーランド(台船)接岸イメージ

3) 藻場の観光活用や磯辺の再生事業

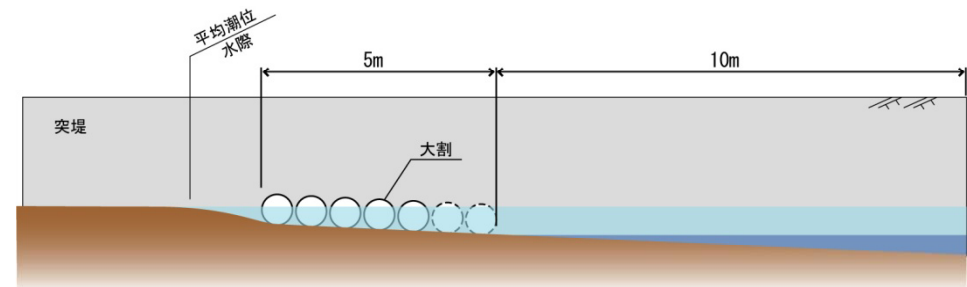
◆藻場活用と磯辺再生事業

浜辺から「磯辺」への試行的「海岸再生事業」を行う。

- ①既設人工リーフの藻場の観光活用
- ②磯辺再生事



藻場調査風景(6月2日調査)



磯辺再生プラン案

元気回復事業に期待される効果

これまでの留萌の建設業は公共事業を中心とした受け身の産業であった。本事業は、建設業が抱える人材や機材を活用して、他の産業・異業種と連携して新分野に進出するものであり、自ら仕事を創るといったこれまでの建設業の体質改善が図られることになる。

- 建設業の活力の再生
- 環境産業への進出
- 新たな雇用の創出

地域などへの波及効果

- ・ 留萌に新たな海岸観光資源が開発されることで、観光客の大きな誘客効果になる。
- ・ 海岸観光に特化した「情報センター」により、的確な海岸情報が提供でき、誘客効果を促進する。
- ・ 建設業が観光分野に進出することで、留萌市の新たな観光戦略の策定が可能になる。
- ・ 建設業が元気になり、留萌が元気になることで若者が定着し、街の活性化へとつながる。

以上